

クイックインストールガイド

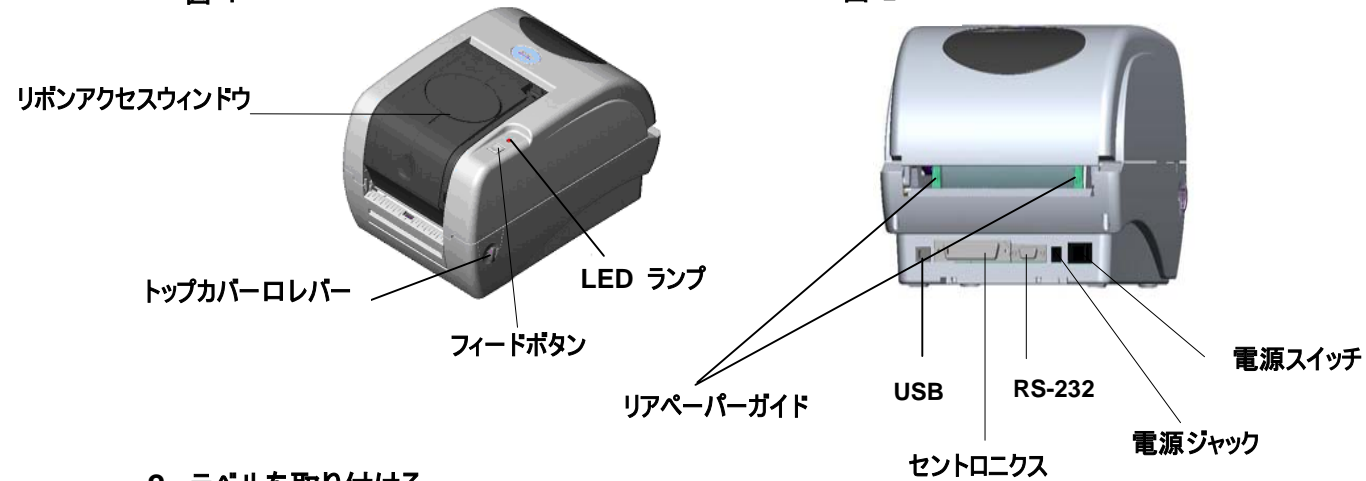
1. プリンタの据付

このプリンタを平らな面に置き、電源スイッチが切れていることを確認します。

1. プリンタを、パラレルのセントロニクス、シリアル RS-232C または USB ケーブルで、ホストコンピュータに接続する。
2. プリンタ背面の電源ジャックコネクタに電源コードを差し込んでから、適切な接地が行なわれたコンセントに、電源コードを差し込む(図2参照)。

図 1

図 2



2. ラベルを取り付ける

注: 電源を入れた後に、リボンが取り付けられているかどうかをプリンタが検出し、熱転写モードまたは感熱モードに切り換えます。プリンタがリボンを検出しない場合(感熱モード)、リボン軸を駆動するモーターがオフになります。プリンタの電源を入れるときに、リボンアクセスウィンドウとプリンタトップカバーの両方が閉じられていることを確認してください。

1. リボンアクセスウィンドウを下に押し、ロックを外してカバーを開ける(図3参照)。
2. ペーパーコアをリボン巻き取り軸に置く。
3. リボン巻き取りペーパーコアをフロントハブに取り付ける。



図 5

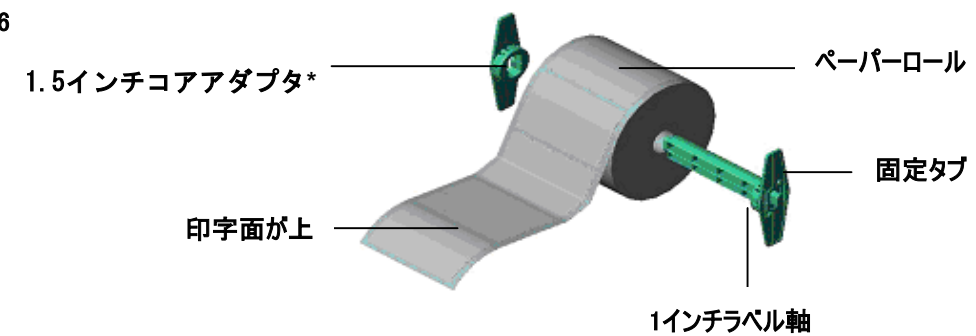


4. リボンをリボン供給軸に取り付ける。
5. リボン供給軸をリアハブに取り付ける(図4参照)。
6. リボンをリボン供給軸から引き、リボンヘッドを横断させ、リボンをリボン巻き取りペーパーコアに貼り付ける(図5参照)。
7. リボンリーダーをリボン巻き取りペーパーコアに取り付ける。
8. リボンリーダーがリボンの黒い部分で完全にしっかりと巻かれるようになるまで、リボン巻き取りペーパーコアを回す。
9. リボンアクセスウィンドウを閉じる。

3. ラベルを取り付ける

1. 1 インチのラベル軸をペーパーロールに挿入する(* ペーパーコアが 1 インチの場合、1.5 インチのコアアダプタを固定タブから取り外します)。

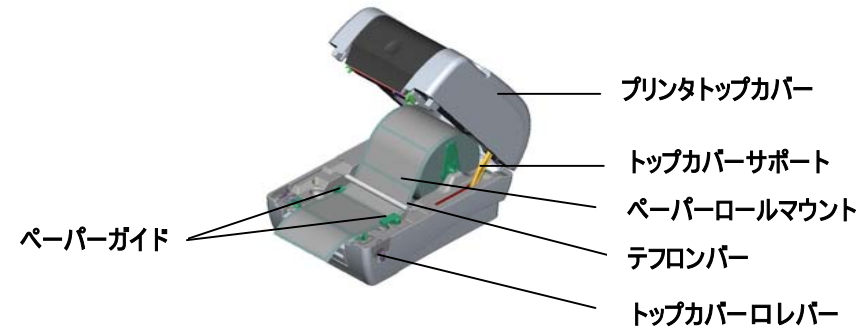
図 6



2. プリンタの各サイドにある緑のトップカバーロレバーを解除し、トップカバーを持ち上げて、プリンタのトップカバーを開く。プリンタの後ろ側のトップカバーサポートで、プリンタトップカバーを支え、開いた状態にする。
3. ペーパーのロールをペーパーロールマウントの中央に置く(図7参照)。
4. 紙を、印字面が上になるように、テフロンバーとラベルガイドに通してフィードし、プラテンの上に通す。
5. 緑の中央よりのペーパーガイドを調整し、ラベル台紙の端に軽く触れるようにする。
6. プリンタのトップカバーを閉じるには、カバーを軽く持ち上げ、トップカバーサポートの裏側をプリンタの正面に向けて引く。プリンタのトップカバーをゆっくりと閉じ、カバーがラッチを確実にロックしたことを確認する。

注: カバーをしっかりと閉じ、ロックしないと、印字品質が悪くなります。

図 7



4. ボタンの機能

このプリンタには、ボタンが 1 つと 3 色の LED ランプがあります。LED を異なる色に光らせ、ボタンを押すことにより、プリンタはラベルをフィードし、印字ジョブを一時停止し、メディアセンサーの選択と補正を行い、自己診断レポートを印刷し、プリンタを初期設定値にリセット（初期化）することができます。ボタンの操作については、次の様々な機能を参照してください。

◆ 通常のボタンの機能

1. ラベルをフィードする

プリンタの準備ができているときにボタンを押して、次のラベルを開始するためにラベルをフィードします。

2. 印字ジョブを一時停止する

プリンタが印字しているときにボタンを押して、印字ジョブを停止します。LED が緑に点滅しているときにボタンを押すと、プリンタが一時停止します。印字ジョブを継続するには、もう1度ボタンを押します。

◆ 電源投入ユーティリティ

プリンタのハードウェアの設定とテストを行う電源投入ユーティリティは6つあります。これらのユーティリティは、FEED ボタンを押しながらプリンタの電源を入れ、異なる LED の色のときに手を放すと有効になります。

異なる電源投入ユーティリティについては、次の手順に従ってください。

1. プリンタの電源スイッチを切る。
2. ボタンを押して、プリンタの電源スイッチを入れる。
3. LED が、異なる機能向けに異なる色になったときに、ボタンから手を放す。

電源投入ユーティリティ	LED の色は、次のパターンで変わります。							
	LED の色	黄色	赤 (5回点滅)	黄色 (5回点滅)	緑/黄色 (5回点滅)	赤/黄色 (5回点滅)	Rosso/giallo (5回点滅)	緑に点灯
1. リボンセンサーの補正とギャップ/ブラックマークセンサーの補正		放す						
2. ギャップ/ブラックマークセンサーの補正、自己診断、ダンプモードに入る			放す					
3. プリンタの初期化				放す				
4. ブラックマークセンサーをメディアセンサーに設定し、ブラックマークセンサーを補正する					放す			

5. ギャップセンサーをメディアセンサーに設定し、ギャップセンサーを補正する						放す	
6. AUTO.BAS 省略							放す

注:

1. センサを補正する前に、GAP または BLINE コマンドで、若しくは電源投入ユーティリティの機能 4 または 5 で、ギャップセンサーまたはブラックマークセンサーを選んでください。GAP 及び BLINE コマンドの詳細については、TSPL2 プログラミング・マニュアルを参照してください。
2. ダンプモードの後に、電源スイッチを切ってから入れ直し、プリンタを正常な印字に戻してください。
3. プリンタの初期化後、または異なるタイプのメディアに変更した後は、必ずギャップ/ブラックマークセンサーの補正を行ってください。
4. プリンタの初期設定値は次のとおりです。

項目	設定
速度	127 mm/秒 (5 ips) (203 DPI) 76 mm/秒 (3 ips) (300 DPI)
濃度	7
ラベル幅	4.25" (108.0 mm)
ラベル高さ	2.5" (63.4 mm)
センサータイプ	ギャップセンサー
ギャップ設定	0.12" (3.0 mm)
印字方向	0
基準点	0.0 (左上の隅)
オフセット	0
切り取りモード	オン
ピールオフモード	オフ
カッターモード	オフ
シリアルポートの設定	9600 bps、パリティなし、 8 データビット、1 ストップビット
コードページ	850
国コード	001
フラッシュメモリのクリア	なし